

① 岩石
② 明ける
③ 作家

④ 先週
⑤ 後日

2
1 A 陸
B 北

2 X ウ
Y 才

3 イ
4 頭
や
手
足

5 ば
6 I 2
II 2

3
1 好
き
き
ら
い

2 A ウ
B ア
C イ
D エ
3 あ
ま
い

〔完答〕

4 八字 緑
の
四字 じ
や

5 X 折
れ
Y す
ず
ら
ん

6 I 2
II 3

配点	
①	各2点×5=10点
②~③	各5点×18=90点
＜計＞100点	

1 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「岩石」は岩のこと。「石」を「右」のようにしてはいけない。②「明ける」はほかに、年が明ける、梅雨が明けるなどと用いる。ほかに「メイ・ミヨウ・あか(るい)・あき(らか)」という読み方がある。③「作家」は詩歌・絵画・陶芸など広く芸術作品を創作する人のことをいうが、特に説明がなければ小説家のことである。④の「週」のしんにょうを正しく書こう。また、今週、来週もセットでおぼえておこう。月は先月、今月、来月と同様だが、日では、昨日・今日(本日)・明日「きのう・きょう・あす」となる。⑤「後日」は数日のちのこと。数年のちは後年、しばらくのちは後刻という。

2

1 A 「カメ」が「からだの形をかえていって」「ウミガメ」になったとある。「海に生活場所をうつす」まではどこで「く」らしていたのか。「本文中からぬき出して」となる答えは限られる。
 B 理科や社会の知識がなくても、本文をよく読んで常識的に考えれば分かる。「ウミガメ」の「おもな生活の場」である「亜熱帯と熱帯」は「日本」よりも「南」にある。すると「日本」は「アカウミガメ」のいるところのうち、どこ「の側」の一番はしのところになるのか。

2 X 頭や甲らは水の抵抗が少ない流線型をしている ↓ また ↓ 前足は大きなオールのようで、うしろ足はひれのようである。

(「およぐの」にできた形に進化」している「からだ」の部分の説明を並べている)

Y ウミガメは頭や手足を甲らの中にしまえないが、およぐの」にできたからだをしている(ので、およぎがうまい) ↓
 しかし ↓ およぎはじょうずでも、うしろからの敵の攻撃には弱い。

(前はからだの形による長所で、うしろは短所になっている)

3 「かじ」は船尾につけて船の進行方向を定める装置のことである。面かじは船首を右に向けるとき、取りかじは船首を左に向けるときのかじの取り方である。

4 直前の「海では陸にくらべて敵が少なく」の部分ではない。それは「頭や手足を甲らの中にしてしまうことはでき」なくてもよい理由である。そもそも字数がちがう。「それ」が「さしている」のは、「およぐの」にできたからだをしている」ことほどは、重要でないことである。

5 「しばしば」はたびたび、何度も、という意味のことばである。

6 I 「親ガメになると、海底にももぐる」のであって、ずっともぐっているわけではない。「ふつうは、もつと短時間しかもぐりません」ともあった。

II 「まだよくわかっていない」のは「ウミガメの産卵行動」ではなく「(産卵のあと)海へもどってからの親ガメや子ガメの行動」であった。

3

1 「また残してる」から「だめ」なのである。これは「わたし」が「何をしている」ということか。

2 会話文の穴うめでは、空らん部と会話文について、まず、それぞれだれのことばなのかと見当をつけることが重要である。交互に話したとすると、AとDにはいるのが「パパ」のことば、BとCにはいるのが「わたし」のことばとなる。同じくAとIが「わたし」のことば、ウとEが「パパ」のことばのようである。すると、「ぼくが食べてあげるよ」↓「えっ、ほんと」というつながりが見つかると、「だって」がその前の「ぼくが食べてあげるよ」を受けていることや、「きらいなんだもんね」に「うん、大きい」が続くことも見つけられる。

3 「ものわりがいい」「パパのことをママ」が「どのように思っているのかを答える問題である。「すずちゃんが好きらしいのある子になってしまった」のは「パパ」が「あまい」からだ」と「ママ」は「思っている」。

4 「ブロッコリー」を「わたし」が「心の中で何と呼んでいるのかを答える問題である。「八字」の「緑のミニかいぶつ」は見つかりやすかっただろう。「きらい」なものだから悪くいったことばではないかと見当をつけてさがせば「四字」の「じやま者」も見つけられただろう。

5 X 「ママ」をたとえた「まっすぐな枝」はどんな枝であったか。

Y 「四文字」の「お花の名前」である。「わたし」のことを「ママ」は「すずちゃん」と、「パパ」は「らんちゃん」と呼んでいた。

6 I 内容から考えて、これは「わたし」のことばで、「パパ」のことをほめているようである。

II 内容から考えて、これも「わたし」のことばで、「ママ」が「栄養満点」と言ったことに対するものである。